

H30 5,487億55百万円 (H29 5,474億42百万円) +0.2% → 14ヶ月予算5,692億円 (前年度5,560億円) +2.4%

当然減要素を除く政策経費で比較 (新幹線関連・経済対策緊急融資・耐震化除き)

H30政策経費2,393億円 (H29 2,368億円) +1.0%

14ヶ月予算 政策経費2,597億円 (前年度 2,453億円) +5.9%

★当初予算で3年ぶりに増額、さらに14ヶ月予算では大幅に増額となるなど、新たな総合計画のスタートへの積極型予算

H292月補正 204億29百万円 (H282月補正 85億37百万円)

>人件費: 1,321.8億円 (H29 1,322.4億円) Δ0.05%
>公債費: 918億円 (H29 924億円) Δ0.7%

とやま未来創生戦略推進枠 (25.7億円) 「とやま未来創生戦略」に基づく人口減少対策や地域活力創出を図る施策 (H292月補正 地方創生拠点整備交付金事業等(35.1億円)との合計…60.8億円)

- ① **結婚から子育てまで切れ目のない支援による少子化対策の推進** 産業支援機関、くすり、農林水産業振興の拠点整備 保育料軽減の対象拡充、子育て応援券の第2子増額と対象サービス拡充、ハッピーファミリーキャンペーン など
- ② **産業・地域経済の活性化** サテライトオフィス誘致支援、外国人技能実習生の受入促進、パリでの伝統工芸PR展示会、富山のさかなブランド化 など
- ③ **若者や女性がいきいきと働き暮らせる魅力ある地域づくり** 産官学連携による地方大学と地域産業の振興、県外大学と協したUIJターンの促進、地域の魅力創出支援 など
- ④ **観光の振興、移住・定住の環境づくり** 富山くらし・しごと支援センターの体制強化(東京大手町オフィスと大阪オフィスの新設)、子育て世代・転勤家族の定住促進、VR技術等による観光プロモーション、富岩水上ライン新艇建造など賑わい創出、魅力ある富山湾の海外でのPR など
- ⑤ **女性が輝いて働ける環境づくり** 煌めく女性のステップアップ支援、女性のライフイベントに応じた切れ目のないキャリア支援、女性農業者支援 など
- ⑥ **高齢者等が能力を発揮して活躍できる社会の実現** 専門的知識・技術等を有する高齢者の就業と県内企業の人材確保支援、障害者の一般就労定着への支援 など
- ⑦ **多様な人材の確保と労働生産性の向上** 働き方改革の推進、「健康経営」の普及支援、農業経営の継承支援、グローバル人材の活用促進 など
- ⑧ **交通ネットワークの整備と活力あるまちづくりの推進** 富山きとときと空港の利用促進、県内全域のバスロケーションシステム導入、若者女性等のまちなかオフィス整備への支援 など
- ⑨ **健康でともに支えあい安心して暮らせる社会の形成** 生活習慣改善のための健康合宿への支援、医療・介護連携促進への支援、認知症への正しい理解促進 など
- ⑩ **未来を担う人づくり** 県立学校のICT教育推進、英語専科教員の配置拡充、部活動指導員の配置、質の高い音楽鑑賞機会の創出 など

新総合計画枠 (54.7億円)

新総合計画の策定を見据え、「活力」「未来」「安心」及び「人づくり」を柱とする政策目標を実現し、「人が輝く元気とやま」の創造のため、高い効果が見込まれる施策

活力とやま [17.5億円]

- ① **グローバル競争を勝ち抜く力強い産業の育成と雇用の確保** 産学官連携による製品開発支援、バイオ医薬品の研究開発支援、クリエイティブ産業の育成、事業承継の促進 など
- ② **生産性・付加価値の高い農林水産業の振興** 「富富富」の戦略的プロモーション、農林水産物の輸出促進、たまねぎ生産の県内展開、とやま型農業経営への支援 など
- ③ **環日本海・アジア新時代に向けた陸・海・空の交通基盤等の強化** あいの風とやま鉄道の新駅(富山駅—東富山駅間)設置、伏木富山港の整備、富山きとときと空港へのチャーター便誘致 など
- ◆ **社会資本の整備等**
 - ◇公共・直轄: 605億円 (H29 597億円、+1.3%)…H292月補正(144億円)との計749億円 (前年度629億円、+19.1%)
 - ・富山高山連絡道路、国道8号豊田新屋立体、農地防災事業(庄川左岸地区)、富山駅付近連続立体交差等の整備促進 など
 - ◇主要県単: 138億円 (H29 133億円、+3.4%)…H292月補正(専決含み17.7億円)との計156億円 (前年度150億円、+3.9%)
 - ・地方創生推進基盤整備事業、県単道道路河川等災害未然防止対策事業 など
- ④ **観光振興と魅力あるまちづくり** 立山黒部の世界ブランド化(ロープウェイの整備検討、ホテル・旅館のハイグレード化支援等)、県都中心部の県有地の活用検討 など

未来とやま [18.2億円]

- ⑤ **結婚・出産・子育ての願いがかなう環境づくり—県民希望出生率1.9へ—** 病児・病後児対応型施設の設置支援、保育所の年度途中受入れ支援、とやまマリッジサポートセンターの利用促進 など
- ⑥ **真の人間力を育む学校教育の振興と家庭・地域の教育力の向上** 県立学校の特色ある教育活動の充実、県立学校のトイレ洋式化、リカレント教育の推進、大伴家持生誕1300年記念式典 など
- ⑦ **文化・スポーツの振興と多彩な県民活動の推進** 富山県美術館での世界ポスタートリエンナーレトヤマ等開催、トップアスリート向けトレーニング拠点整備、留学生定着促進 など
- ⑧ **ふるさとの魅力を活かした地域づくり** 国際防災学会(富山開催)における立山砂防のPR、中山間地域活性化への支援、耐雪型侵入防止柵の設置支援 など

安心とやま [13.8億円]

- ⑨ **いのちを守る医療の充実と健康寿命日本一** 県立大学看護学部の整備、がん検診の受診率向上支援、ウォークビズとやま県民運動の推進、性暴力被害者等の支援 など
- ⑩ **住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉の推進** 共生型包括ケアネットの構築、手話の普及促進、障害者の就労支援、発達障害児や医療的ケア児者への支援 など
- ⑪ **環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県」づくり** 3R推進全国大会の開催、富山物質循環フレームワークを踏まえた食品ロス削減の推進、地熱資源開発調査 など
- ⑫ **災害に強く、「日本一安全・安心な県」づくり** 防災・危機管理センター(仮称)の整備、地震・津波・火山・洪水浸水対策の充実、富山南警察署(仮称)の整備 など

人づくり [5.2億円]

- ⑬ **すべての人が活躍できる環境づくり** 富山県における人生100年時代の人づくり構想の検討、とやま起業未来塾・とやま観光未来創造塾の拡充 など
- ⑭ **富山県や日本を担う子どもの育成** とやま科学オリンピックの開催(参加者枠を拡充)、小学生の英語力向上支援、子どもの職業体験への支援など
- ⑮ **若者の成長と自立、起業の支援、社会参加の促進** 県立大学と早稲田大学の連携による起業家育成プログラムの実施、県内中小企業のインターンシップへの支援 など
- ⑯ **女性の活躍とチャレンジへの支援** イクボスの普及促進、中小企業における女性活躍の支援、ものづくり女子の育成、女性警察官の勤務環境整備 など
- ⑰ **エイジレス社会実現と「かがやき現役率」の向上** ねんりんピック(富山大会)の開催、エイジレス社会リーダーの養成と活動実践への支援 など

行財政改革の推進

約400億円の財政構造赤字は解消(H28)できたが、依然として国・地方ともに厳しい財政環境

- ◆ 社会保障関係費は、H16(289億円)に比べ、約2倍(H30 567億円)となっており、今後も増加する見込み
- ◆ 県税収入は、企業収益の改善などにより増収となるが、リーマンショック以前の水準には未だ届かない状況 (県税の状況※) H28当初1,319億円→H29当初1,308億円→H30当初1,335億円 (参考)H29決算1,354億円 (※実質増収ベース、地方交付税特別交付金と税を含ま、地方消費税引上げ分(5%→8%)を除く)

国社会保障費
H29 32.5兆円
→H30 33.0兆円
(+0.5兆円)

地方一般財源総額の確保

- ◆ 地方財政対策において、地方一般財源総額は前年度を若干上回る額(+0.01%)が確保されるとともに、本県においては、税源の偏在是正や地方消費税の清算基準見直しなどにより、実質的な一般財源※は約8億円増加(+0.27%) ※実質的な一般財源(実質増収+地方譲与税+地方交付税+臨時財政対策債): H29 2,956億円→H30 2,964億円

リーマンショック前の水準

行政改革による人件費の削減等

- 【職員数の削減】
- ◆ 一般行政部門…H17からH26までの10年間(H16比)で削減目標20%(832人)を上回る21%(872人)の削減を達成 ⇒ H30までで**23%(955人)の削減見込み**
- ◆ 普通会計ベース(一般行政部門、教育部門、警察部門等)では、H17からH30まで(H16比)で**10%(1,586人)の削減見込み**
- 【人件費の抑制効果】
- ◆ 普通会計…職員1,555人削減、**人件費累積削減効果(H16比)は約1,633億円の見込み** (H17～H29)
- ◆ 一般行政部門…定数抑制と給与水準引下げによりH29人件費はH16比で**△約85億円(△28.3%)**の見込み(単年度ベース)

県債残高の縮減と財政調整基金等の残高確保

- ◆ 県債残高は昨年度に引き続きH30末においても低減見込み(臨財債含む) ⇒H30末県債残高見込み**1兆2,165億円**(H29末見込み1兆2,401億円、**△236億円**) [参考] H30末国債残高見込み: 883兆円 (H29末見込み864兆円、**+19兆円**)
- ◆ 財政調整基金と県債管理基金(満期一括償還分除く)を取り崩さず予算を編成 ⇒**30末残高見込み154億円**(標準財政規模(29,986億円)の5%程度を確保)

